



ソウル大学で 日本文化を 研究するといふこと

尹相仁（ユン・サンイン）

ソウル大学校人文大学アジア言語文明学部教授

国立ソウル大学に日本文化を教育・研究する組織が二〇一三年三月から発足した。開学六十七年目にしての歴史的な転換である。遅い出発となったが、個性豊かな自立した日本専門家の養成の拠点を求める韓国社会の要望は依然として強い。すでに半世紀の歴史を持つ韓国の日本研究は、規模の拡張から質の向上へと切り替える時期に差し掛かっており、日本研究の成熟は避けて通れない課題である。ソウル大学校人文大学にできた日本語文明専攻が日本研究の新たな時代を切り開く先導役となるためには、何をするべき（／べきでない）か。

■ 日時 2013年5月17日（金）
16:30～18:00

■ 場所 東京大学教養学部18号館4階
コラボレーションルーム1
一般来聴歓迎

■ 主催 東京大学比較文学比較文化研究室
03-5454-6330
office@fusehime.c.u-tokyo.ac.jp